

原料費調整制度に基づく2022年9月検針分のガス料金について

(東京地区等)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年9月検針分の単位料金を調整した結果、2022年8月検針分と同額といたします。

なお、2022年4月～2022年6月の平均原料価格が91,600円/t（原料費調整の上限値）を超えたため、計算上は平均原料価格を91,600円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2022年8月検針分と同額となります。

2022年9月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

| 1ヵ月のご使用量 | (消費税込) | | | | | |
|-------------------------------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| | 料金表A 0～20m ³ | 料金表B 21～80m ³ | 料金表C 81～200m ³ | 料金表D 201～500m ³ | 料金表E 501～800m ³ | 料金表F 801m ³ ～ |
| 基本料金 (円/月) | 759.00 | 1,056.00 | 1,232.00 | 1,892.00 | 6,292.00 | 12,452.00 |
| 調整単位料金 (円/m ³) | 175.87 | 161.02 | 158.82 | 155.52 | 146.72 | 139.02 |
| (参考) 8月 調整単位料金 | 175.87 | 161.02 | 158.82 | 155.52 | 146.72 | 139.02 |

2. 標準家庭における影響

| 1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³) | (消費税込) | | |
|---|----------|----------|----|
| | 2022年 8月 | 2022年 9月 | 増減 |
| 適用料金(円/月) | 5,886 | 5,886 | 0 |

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量（2012年度～2016年度の5ヵ年平均）に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円（消費税込）を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

| | 2022年3月～2022年5月 の平均 (8月検針分) | 2022年4月～2022年6月 の平均 (9月検針分) | 対前期 差額 |
|-------------|--------------------------------|--------------------------------|-----------|
| 平均原料価格(a) | 97,630 | 102,560 | 4,930 |
| LNG | 96,850 | 101,840 | 4,990 |
| LPG | 106,780 | 110,290 | 3,510 |
| 基準平均原料価格(b) | 57,250 | | |
| 差額(a-b) | 40,300 | 45,300 | 5,000 |

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} \quad \boxed{101,840} \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} \quad \boxed{110,290} \times 0.0546 \end{aligned}$$

$\boxed{102,555.97}$

↓(10円未満四捨五入)

$\boxed{102,560}$ 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$\boxed{91,600} \text{ 円/t} - \boxed{57,250} \text{ 円/t} = \boxed{34,350} \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$\boxed{34,300}$ 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{34,300} \text{ 円} \quad /100\text{円} \times 0.0891^{*1}$$

$$= \boxed{30.56} \text{ 円}^{*2}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³) | 2022年 8月 | 2022年 9月 | 増減 |
|---|----------|----------|----|
| 適用料金(円/月) | 5,886 | 5,886 | 0 |

・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込) = 基本料金(1,056.00円)

$$+ \text{調整単位料金}(\boxed{130.46}\text{円} + \boxed{30.56}\text{円}) \times 30\text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は91,600円としてガス料金の調整を行います。